

## 【アメリカ】強制仲裁を制限する連邦法の成立

海外立法情報課 中川 かおり

\* 2022年3月3日、性的虐待又はセクシャル・ハラスメントに関する事案につき、紛争前の仲裁合意又はクラスアクション等の訴権放棄を有効でないとする連邦法が成立した。

### 1 背景

仲裁とは、紛争を、当事者が選定し、その判断に服することを合意した第三者の裁定に委ねることをいう。仲裁合意は、これに署名する者に、裁定により紛争を解決することを強制するもので、これを強制仲裁（forced arbitration）という。強制仲裁規定は、一般的な労働契約や消費契約に広く含まれ、労働者や消費者は、企業との紛争の訴訟による解決を阻まれてきたといわれる<sup>1</sup>。また、企業は、巨額の賠償金支払を回避するため、しばしば、労働契約等に、労働者のクラスアクション<sup>2</sup>の訴権を放棄させる規定を含めてきた。

1925年制定の連邦仲裁法（Federal Arbitration Act: FAA）<sup>3</sup>が仲裁合意を保護する目的は、訴訟の費用削減と紛争解決の遅延回避にあったが、その制定経緯は、同法が想定する紛争が、同等の力関係にある商人間のもので、労働者等の立場の弱い個人と巨大企業との間のものではなかったことを示す<sup>4</sup>。ところが、近年の連邦最高裁判所の判決の多くは、FAAが、労働者等に訴訟による紛争解決又はクラスアクション等の訴権を許容する州法<sup>5</sup>等に専占<sup>6</sup>するとしてきた。

こうした中、2022年3月3日に、企業と労働者等との間の、連邦、インディアン部族又は州の法律に基づき申し立てられる性的虐待又はセクシャル・ハラスメントに関する事案に、紛争前の仲裁合意又はクラスアクション等の訴権放棄を有効でないとする連邦法<sup>7</sup>が成立した。

### 2 概要

同法は、合衆国法典第9編に第4章を新設し、次の2条を定める。この概要は次のとおりである。なお、これらの規定は、同法の制定日以降に生ずる紛争又は主張に適用される。

#### (1) 定義（合衆国法典第9編第401条）

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2022年4月5日である。

<sup>1</sup> これに対し、企業側は、強制仲裁において、仲裁費用を負担すること、繰り返し紛争解決を仲裁人に依頼すること等から、自らに有利な判断を期待できるとされる。労働政策研究・研修機構編『アメリカにおける個別労働紛争の解決に関する調査結果（JILPT資料シリーズ；no.157）』2015, p.23.

<sup>2</sup> class action. 共通点を持つ一定範囲の人々を代表し、1人又は数名の者が、全員のために原告として訴え、又は被告として訴えられるとする訴訟形態。田中英夫編『英米法辞典』東京大学出版会, 1991, p.150.

<sup>3</sup> To make valid and enforceable written provisions or agreements for arbitration of disputes arising out of contracts, maritime transactions, or commerce among the States or Territories or with foreign nations, P.L.68-401. 中心となる条文である合衆国法典第9編第2条の翻訳は、次の文献を参照。商事法務編『仲裁法制の見直しを中心とした研究会報告書：付・諸外国等における仲裁法制についての調査報告書（別冊NBL No.172）』商事法務, 2020.11, p.256.

<sup>4</sup> H.R. Rep. No. 117-234, p.7 (2022).

<sup>5</sup> 2019年にカリフォルニア州は、雇用に関連するほとんどの強制仲裁を禁止する法律を制定したが（AB51, Chapter 711, Statutes of 2019）、連邦商務省及び同州商務省は、FAAが同法を専占するとして提訴し、現在、連邦控訴裁判所第9巡回区に係属中である。全50州が仲裁合意を規制する何らかの法律を有している。Jon O. Shimabukuro and Jennifer A. Staman, “Mandatory Arbitration and the Federal Arbitration Act,” *CRS Report*, R44960, p.5.

<sup>6</sup> preempt. 連邦法違反の州法、州判決等が無効とされること。田中 前掲注(2), p.656.

<sup>7</sup> Ending Forced Arbitration of Sexual Assault and Sexual Harassment Act of 2021, P.L.117-90. <<https://www.congress.gov/117/plaws/publ90/PLAW-117publ90.pdf>> 同法は、1970年職業安全衛生法以来の重要立法であるとの評価もある。

「紛争前の仲裁合意」とは、合意時に生じていなかった紛争を仲裁するための合意をいう。

「紛争前の共同訴訟の訴権放棄」とは、合意時に生じていなかった紛争につき、司法、仲裁、行政又は他の手続において、共同訴訟<sup>8</sup>、クラスアクション等に参加する一方当事者の訴権を放棄等させる合意をいい、この合意が紛争前の仲裁合意の一部であるか否かを問わない。

「性的虐待の紛争」とは、合衆国法典第 18 編第 2246 条（第 109A 章（性的虐待）の定義規定）又は同様に適用可能な部族若しくは州の法律の規定により定義される、同意のない性的行為又は性的接触に係る紛争をいい、被害者が性的行為等に同意能力を有しない場合を含む。

「セクシャル・ハラスメントの紛争」とは、適用可能な連邦、部族又は州の法律の規定に基づきセクシャル・ハラスメントを構成すると主張される行為に関する紛争をいう。

## （2）有効性及び執行可能性の否定（合衆国法典第 9 編第 402 条）

①性的虐待の紛争若しくはセクシャル・ハラスメントの紛争を構成する行為を主張する者又は当該行為を主張するクラスアクション等の代表者の選択に従い、紛争前の仲裁合意又は紛争前のクラスアクション等の訴権放棄は、連邦、部族又は州の法律に基づき申立てられる性的虐待の紛争又はセクシャル・ハラスメントの紛争に係る事案に関連して、有効とされ、又は執行可能とされてはならない（a 項）。

②第 4 章の適用可能性の問題は、連邦法の規定に基づき決せられる。仲裁合意に対するこの章の適用可能性並びにこの章が適用される当該合意の有効性及び執行可能性は、当事者の取決めにかかわらず、仲裁人ではなく裁判所によって決せられる（b 項）。

## 3 解説及び不明点

代表的な法律事務所の説明から、同法の規定の主な解説及び不明点を次に示す。

### （1）2(2)①の規定の解説

法文は、「…者又は…代表者の選択に従い」とし、労働者等は、同法による紛争前の取決めにかかわらず、訴訟を選択できるようになったが、依然として仲裁を選択することもできる<sup>9</sup>。

法文は、「紛争前の仲裁合意又は紛争前のクラスアクション等の訴権放棄」とし、紛争後の仲裁合意又は紛争後のクラスアクション等の訴権放棄は、この条により制限されない。

法文は、「性的虐待の紛争又はセクシャル・ハラスメントの紛争に係る事案」とし、これら以外の、例えば、人種差別、労働賃金等の紛争に係る事案の場合には、紛争前の仲裁合意又はクラスアクション等の訴権放棄は、この条により制限されない。

### （2）不明点

性的虐待又はセクシャル・ハラスメントの主張が、同法の対象とされない人種差別、労働賃金等の他の主張と同時にされる場合に、①全ての主張が訴訟で争われるのか、又は②性的虐待及びセクシャル・ハラスメントの主張のみが訴訟で争われ、他の主張は仲裁で争われるのかが判然としない<sup>10</sup>。①であれば、原告の弁護士は、申立てに性的虐待又はセクシャル・ハラスメントの主張を含めることで、訴訟において陪審審理に持ち込むことが可能になる。

<sup>8</sup> joint action. 2 名以上の原告又は被告が行う訴訟。Blacks's Law Dictionary, 11<sup>th</sup>ed, Thomson Reuters, p.39.

<sup>9</sup> "Senate Passes Bill Banning Mandatory Arbitration in Sexual Assault and Harassment Claims," Davis Wright Tremaine LLP, March 1, 2022.

<sup>10</sup> "Practical Considerations for Navigating the Upcoming Federal Ban on Predispute Arbitration and Class Action Waivers of Sexual Harassment and Assault Claims," Morrison & Foerster, February 14, 2022.